

当院において腎がんに対して凍結療法を受けられた方

およびそのご家族の方へ

—「AI による腎凍結療法後局所再発予測モデルの開発」へご協力をお願い—

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信
研究責任者 岡山大学学術研究院医歯薬学域 放射線医学 松井 裕輔

1) 研究の背景および目的

腎がんとは腎臓の細胞ががん化したものです。早期の腎がんに対する標準的な治療としては外科手術（切除術）が行われますが、外科手術以外の治療選択肢の一つとして、凍結療法（特殊な針を刺して、がんを体内で凍らせて治す治療）があります。腎がんに対する凍結療法の後には、まれに治療した部分にがんの再発が生じることがありますが、個々の患者さんにおいて、どれくらいの確率で再発するのかを正確に予測することは困難です。

この研究では、当院で腎がんに対して凍結療法を受け、その後定期的に再発の有無をフォローされた患者さんの情報を用いて、人工知能（AI）を応用して凍結療法後の再発の有無を予測するモデルを開発します。この AI モデルは、一人ひとりの患者さんがより適切な治療法を選択することに役立つ可能性があります。

2) 研究対象者

2012 年 8 月～2022 年 7 月の間に岡山大学病院放射線科において腎凍結療法を受けられた方のうち、この研究に適した組織のタイプであること、治療前に適切な方法で造影 CT が撮られていること、一定期間以上の経過観察を受けられていること、18 歳以上といった条件を満たす 140 名の方を対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2027 年 3 月 31 日

情報の利用開始予定日：研究機関の長の許可日から 1 週間後

4) 研究方法

当院で腎がんに対する凍結療法を受けられた後、再発の有無をフォローアップされた方で、研究者が診療情報をもとにデータを選び、CT 画像を解析して、治療前の CT 画像から治療後の局所再発の有無を予測する AI モデルを開発します。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、身長、体重、腎機能、病歴
- ・ 腎がんに関する情報（腫瘍の大きさ、組織型、再発の有無を含む）

- ・ CT 画像データおよび撮像方法
- ・ 腎凍結療法手技の記録

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、岡山大学病院放射線科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究資金と利益相反

この研究は研究者が所属する診療科の奨学寄附金を用いて行います。また、利益相反はなく、その点を利益相反マネジメント委員会に申告します。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学学術研究院医歯薬学域 放射線医学

氏名：松井 裕輔

電話：086-235-7313（平日：9 時～17 時）